

【基本情報】

クラブ名	FC 東京		
活動テーマ	試合運営研修		
実施場所	味の素スタジアム		
活動部署	事業部、イベント部、運営部		
参加者	常盤亨太選手	後藤亘選手	山口太陽選手
活動期間	2025 年9月23日(火)		

【活動報告詳細】

■活動目的

クラブ運営の裏側を学び体験することでJリーグやクラブを支えている人々の存在に気づき感謝するとともにピッチで活躍する原動力に。

■活動内容

スタジアム椅子拭き、フードの販売、関係者来賓受付、報道関係者受付
試合後のごみ拾いボランティア

■選手コメント

【常盤亨太】

今回は試合日のスタジアムで何が行われているかという、自分が試合メンバーに入っていたら絶対に分からないことを経験した。各部署で様々な取り組みをしているなかで、多くの方々の協力があって試合が成り立っているということを強く感じた。サッカー選手であるなら、自分を取り巻く人たちのことをもっと知るべきだと思ったし、知ることによってこれからの行動に対する責任感や行動を判断する想像力が変わってくると思った。どの部署を体験しても根底にあるものはチームのために自分の力を使うことだと感じ、それを一番体現しなければいけないのは試合でプレーしている選手だと思い、日々の中でこの体験を通して接した方々に対してプレーで恩返しをしたいと思った。

【後藤亘】

今回の活動を行い、改めて試合を成立させるためには選手が試合でプレーをするだけでなく、見えないところで支えてくれているスタッフの方や有志のボランティアの方など様々な方たちの仕事があると感じる事ができた。例えば受付の対応であったり、試合前の椅子拭きだったり、その日に試合を見に来てくれた人に気持ちよく試合を見てもらうために配慮して行ってくれていることには感謝しないといけないと感じた。試合後のスタジアム清掃は実施していることを今回初めて知り、一緒に清掃させていただいて、FC 東京のために自ら率先してやってくれていることに感謝しないといけないと思った。また研修を通じて新たな発見や学びもあったし、選手を取り巻く様々な人達に感謝しないといけないし、そういう人のためにプレーしていこうと思った。

【山口太陽】

今までアルバイトを含めて、接客や椅子拭きなどの仕事をしたことがなかったので貴重な体験ができました。また、選手が試合をしている裏側にはたくさんの仕事があり、その仕事に関わっている多くのスタッフの方々によって運営されているのだと感じました。スタジアムの清掃では、仕事としてではなくスタジアムやFC東京のために無償で参加しているファン・サポーターのみなさんの存在を知りました。選手達はこういった人達の支えがあってこそサッカーができているということを心に刻んでプレーしなければいけないと思いました。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	FC 東京		
活動テーマ	子供、家族、医療従事者とのふれあい		
実施場所	ドナルド・マクドナルド・ハウスふちゅう 都立小児総合医療センター		
協働団体	FC 東京	ドナルド・マクドナルド・ハウスふちゅう	都立小児総合医療センター
参加者	後藤亘選手		
	権田修一選手		
活動期間	2025 年 6 月 12(木)15:00～17:00		

【活動報告詳細】

■活動目的

認知度向上課題へ、実施後の SNS などでの発信

家族の生活がルーティン化している課題へ、プロサッカー選手とふれあうという非日常体験の場面を作る
コミュニティとの隔絶課題へサッカーに興味を持ってもらい新たなコミュニティを知ってもらう

■活動内容

ドナルド・マクドナルド・ハウスふちゅう見学

施設ボランティアとのふれあい

都立小児総合医療センター、家族、医療従事者とのふれあい

■選手コメント

後藤亘選手

今回病院やドナルド・マクドナルド・ハウスを訪れてみて、自分自身これまで入院をするという経験がなく訪問しましたが、施設の広さや大きさ設備など詳しくお話をさせていただいて様々なことを知ることができました。また病院訪問でたくさんの子供たちとの交流を体験し改めてサッカー選手が社会に与える影響の大きさというのを感じ、同時にこういった社会に貢献する重要さを感じることができました。

また自分も子供たちから元気をもらい、もっと応援してくれる子供たちのためにも頑張らなければいけないと思いました。今回訪れるまでは施設のことにについて何もわからない状態でした。このような活動をまた行いたいと思ったのと同時に、もっと世間にも知ってもらえるように、自分も含めてチームやJリーグを中心に発信していければいいと思いました。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	FC 東京		
活動テーマ	福島復興支援活動		
実施場所	双葉町、富岡小学校		
協働団体	FC 東京	いわき FC	選手会
	J ヴィレッジ	富岡小学校	
参加者	常盤亨太	後藤亘	山口太陽
	矢島輝一(福島ユナイテッド FC)		
活動期間	2025 年 12 月 11 日(木)～2025 年 12 月 12 日(金)		

■活動内容、目的

震災を風化させないという観点で震災遺構浪江町請戸小学校を見学し当時の状況を学び、感じたことを選手たちが継続して学び続けることと震災を伝えていくことを実施した。

被災地の活性化という観点では富岡小学校で児童が元気に過ごせるように一緒にサッカーを楽しんだ。

■選手コメント

常盤亨太選手

今回は新人研修シャレンの活動で福島県を訪問しました。東日本大震災から 14 年が経ち、復興しているものだと思っていましたが、現実はまだ放射能数値の影響で海側の地域では立ち入り禁止区域が設けられ、未だに家に帰れない人もいるということを知りました。復興はまだまだ進んでおらず、地域の人々がこの地に戻って新たに生活が出来るまでは復興したとは言えないと思いました。サッカー選手が持つ発信力を使って、この事実を正確に広め、この地域の復興に貢献したいと考えています。

山口太陽選手

テレビの中でしか見ていなかった被災地を実際に訪れたことで、映像だけでは分からなかった現実を肌で感じました。東日本大震災から 14 年たった今でも苦しんでいる人がいることを知り、復興の難しさを感じました。また小学校訪問では選手たちが行くことで子供たちを喜ばせられることを知りました。この二日間を通して小さいことでも行動や発信をすることで喜んでくれる人がいることを学び、常に考え行動していくことが必要だと感じました。

■活動写真

